

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	愛の家グループホームあびこ
(ユニット名)	星 ユニット
所在地 (県・市町村名)	大阪府泉大津市我孫子150番地
記入者名 (管理者)	岩名 幸弥
記入日	平成 21年 8月 1日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家族的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活の介助を通じて、安心と尊厳のある生活を営む事を支援する」と、なにを大切にして利用者の生活をささえようとしているかの理念が 事業所独自の表現で簡潔に表記されている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニット毎に掲示されており、朝礼時には職員にて唱和を行い、理念を意識し日常の業務の中で理解を深めている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時に書面及び口頭にて周知されているが、地域の方へは積極的に働きかけは出来ていない。	○ 地域のイベントや行事に積極的に参加し、交流を深めたいと考えています。今年是我孫子地区の夏祭りに参加させて頂き、ホームの事を知って頂ききっかけになればと思っています。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	年一回の「納涼祭」にて、近隣への参加の呼びかけを行い、日舞、和太鼓等の催し、今年で6回目迎え、心待ちにしていた方も多いと多く、グループホームへの関心を深めていただけるよう努めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時等は積極的に挨拶等に努め、日常的なお付き合いが出来るよう努めている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「認知症相談会」を定期的で開催する事により、地域の方々に認知症だけではなく、介護の相談へと幅をひろげ地域の方々に安心していただけるよう努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月一度のユニット会議上にて外部評価及び自己評価の意義を深め、又、職員からの意見等も取り入れ積極的改善に取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的で開催されている為、ホーム内だけでは知りえない情報、意見等を具体的に日常業務へ反映させるよう努力している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当課へは頻繁にあしを運び、事業所の実情等を積極的に伝え、又、地域包括支援会議へも積極的に参加し、他施設の現状等の情報交換を行い、事業所の課題解決等を図っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	具体的な事例が無かったので、活用及出来ていない	○	これから、益々成年後見制度など必要になられる方が増えてくると思います。包括会議では司法書士の先生も参加されているので、色々教えて頂き、スタッフにも伝えていき活用出来る様、努力致します。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、事業所内での虐待が見過ごされぬよう徹底した注意喚起をしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には、口頭及び文書にて契約内容、重要事項、重度化した場合の指針等十分な説明をし、理解をしていただいた上で契約の締結を行っています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段よりコミュニケーションを十分に図り、ちょっとした言動、行動等に注意を払い職員がキャッチできるよう環境作りに努めている。又、ご家族様へも相談を図り、改善できるよう努めています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>事業所独自の「ひだまり」(月位階発行)を発行。又、体調の変化等があった場合は、直ちにご家族様へ電話にて報告を徹底のうえ実施しています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内(玄関)に苦情箱を設置し、又、ご家族様が訪問の際に何でも言っただけよう雰囲気作りを心がけ、頂戴した意見は直ちにユニット会議等で検討のうえ改善に努めている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ユニット会議(月1)、リーダー会議(月1)を機軸にし、運営に関する様々な事柄の意見及び提案を聞く機会を設け、依り良いホーム運営に反映させている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事、通院介助等、又、突発的な人員不足等で必要になった場合は、状況に応じ対応が出来るように体制の整備が整っている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>個別の職員及び管理者のみではなく、職員一人一人が全てのご利用者様(全員が馴染み)とコミュニケーションが図れるよう、合同レクレーション等にて異動等に係るご入居者様の不安材料を取り除くような環境作りをしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>業務に支障をきたさない様研修の機会を設けている(月1程度)他外部主催の研修参加への啓蒙は行っているが、職員個人での参加へ至っていないため、十分とはいえない。</p>	<p>○</p> <p>ホームだけでの研修では視野が狭くなりやすくなるように思います。9月より他ホームへの研修を実施出来る様、準備中です。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援会議や運営推進会議を通じて、ネットワーク作りや情報交換を行いサービスの質の向上に努めています。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的に職員との個人面談の機会を作り、直接悩み、意見等が言える場を提供しています</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>コンピテンシー評価を導入し、職員の意識向上を促し、目標を明確化することにより、向上心をもって働ける体制を整えている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>認知症の方の為、面談等でなかなかご本人様の思いを言葉として聞く事は困難ですが、入居までにご本人様が何を求めているか、何を楽しみにされているかなど、数回お会いさせて頂き、ご家族にも力をお借りし、受け止める努力をさせて頂いています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人様とは別に、ご家族様とお話出来る時間を設けています。ご家族様が現在抱えている悩み・不安など、納得いくまでお話して頂き、少しでも安心して頂けるように努めています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームなので、ご家族様が1番に求められているのは「入居」ですので他のサービス利用は該当しません。ただし、相談に来られ情報を知らない方などには、グループホームだけではなく、どんなサービスがあるか、ご説明させて頂いています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様が納得してスムーズにサービスを受けて頂ける様、入居に至るまでにお会いする機会を設け、いち早く職員に馴染んで頂ける様、努力しています。ご本人様の納得が得られない場合は、納得して頂ける様な関わり方を心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様は人生の先輩であり、目上の方という気持ちを大切にしながら対応させて頂くよう心掛けています。時には残存機能を発揮されたり、沢山の事を教えて頂いたりと共に支え合える関係を築けるよう努めています		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話やホームの新聞(月1回発行)にて、入居者様の現状をお伝えしています。「今日は笑顔が多いですよ」「昨日はしゃべられたんですよ」など少しの変化でもご家族様にお伝えすると、とても喜んで下さり共に喜びや苦しみを分かち合える関係を築けるよう努力しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様がご本人様と共に過ごして頂ける行事を企画し、少しでも一緒に楽しんで頂けるよう努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで使っておられた馴染みの物を持ってきて頂き、居室に置いて頂いています。馴染みの物がある事により、それを見て安心される事があります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様の関係が持て、気の合う入居者様同士で話などが出来る様、職員が仲介役になり円滑な交流が出来る支援を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	グループホームなので、退去されるのはほぼ入院・特養などへの転居・他界などが理由です。入院・転居された後は、面会に行かせて頂き、お付き合いは大切にさせて頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	表情やしぐさなどからその真意を量り、ご本人様が希望されていると思われる思いを汲み取り、それをやり遂げられるようお手伝いをさせて頂き、自信や満足感に繋がる様、努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様、一人一人の生活歴を把握し、利用されている間も情報収集に努めています。また、ご本人様との会話の中で、ご本人様の口から今までの生活歴をゆっくりお話して頂けるように時間を設ける努力をしています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活の中から、ご本人様が出来る事・興味を示される事に着目し、ご本人様の全体像を把握出来る様、努力しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎週、カンファレンスを行い、現場職員の情報・意見を取り入れ、家族様のご希望も踏まえ、介護計画の作成を行なっています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、短期目標の期間に合わせモニタリングを行い、評価をしています。さらに1週間に1回カンファレンス・1ヶ月に1回見直しを行いその時に必要な計画を作成しています。日常生活での状況の急変にも臨機応変に対応出来るよう力を注いでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄チェック表や必要に応じて水分チェック表を利用したり、介護記録にて1日の入居者様の状況や変化を記録し、申し送り申し送りを行なうなど、入居者様の日々の変化に気付けるようにしています。また、スタッフノートを活用し、勤務開始前確認を徹底しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの生活の中で、ご本人様やご家族様の希望や要望をお聞きし、それに合った支援やアドバイスを行っています。時には、ご希望があってもご本人様に不必要な場合は、ご家族様が納得されるまでご説明させて頂いています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	周辺施設や地域との連携を持ち、ボランティア等への協力も依頼し、入居者様が安心して生活が営めるように支援しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様の希望に応じて、訪問理容サービスを利用しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	毎月2回(第二・第四金曜日)包括支援会議に参加しています。何かあれば相談等させて頂いているので、協働は出来ていると思います。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の提携医療機関以外にも、入居前にご本人様の主治医には、医療を継続して受けられるよう、ご家族様と協力し通院介助を行っている。また、提携医療機関の医師にかかりつけ医になってもらい、2週間に1度往診に来てもらっている。24時間体制で急変時も対応させて頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフ会議やミーティングで入居者様に対する言葉遣いへの配慮、入居者様の尊厳や権利を損わないような話し合いを行なっています。個人情報の取り扱いについても、各フロアに「個人情報の取り扱いに関する規則」を配布しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様個々に対しての声掛けの方法や内容を、その都度変えたりその方に合った声掛けを行う様にしています。また、入居者様自らが判断出来るように、職員が待つ姿勢を大切にしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは概ね決めているが、入居者様個々に合った生活ペースを大切に出来る様、入居者様本意に努めています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理容師が月1来て頂き 希望にあわせてカットしていただいています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様個々の力量に応じて、配膳及び下膳等をお手伝いいただいています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様の嗜好にあわせ、様子観察しながら日常的に楽しんでいただけるよう支援しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、入居者様の排泄ペースを把握できるように取り組んでいます。又、オムツ等に頼る事が無く、自力排泄をしていただく為 入居者様個々に合わせた排泄誘導を行う等の支援をしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者様の心身の状態を把握し、その人にあったタイミングで声掛けを行い入浴誘導を行っている。又、お風呂の嫌いな方には声かけの工夫、チームプレーで安心感を持っていただき、入浴を楽しめる環境作りを行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人のペースにあわせ、安心して休憩及び睡眠をとっていただけるようはいりよをしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様お一人お一人の趣味、生活歴等に配慮しながら、植木の水やり、食器洗い等、又、唄のお好きな方は唄を歌っていただき、書道、はり絵、絵画等のお好きな方は都度やっていただける様に支援をしている。又、それらの作品等を行政が開催している催しに随時出品、展示させていただく機会を設けています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル回避の為、ご家族様了解のもと、金銭は事務所内の金庫にて保管している。職員同行のもと買物に行った際は、そのときの状況に合わせて個々の財布(金庫保管分)にてご自由にお買物が出来るよう配慮している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候にあわせ、職員同行の下、散歩、買物など入居者様の希望に沿って外出できるような支援を行っています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段の会話より、ご入居者様が行きたいところをキャッチし、全員もしくはご入居者様何名か(そのときの体調を考えながら)で外出できる機会を設けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望があった場合は、自由に電話をかけられるよう支援しています。又、年賀状はご本人の状況に合わせ入居者様本人に書いていただき、ご家族様へ送付できるよう支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は一応設けていますが、ご家族様、友人等の馴染みの方には 気兼ねなく時間を過ごしていただけるような環境作りをしています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人として「身体拘束廃止推進委員会」を設置しており、法人全体としての取り組みを行っている。又、その要綱内容も職員全員が把握している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいますが、1Fに他業者が入っている為、2Fからは死角になり施錠せざるおえない状況です。ただし、2Fの出入り口に関しては、開放出来る様、状況に応じて対応させて頂いています。	○	施錠しない環境作りに、もっと力を入れていきたいと思っています。包括会議や推進会議などで、色々な方法やアイデアを教えて頂き取り入れて実践していきたいと思えます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に入居者様に目を配り、プライバシーに配慮しながら、昼夜を通して入居者様の所在や様子を把握し事故等がないよう安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者様に応じて対応しています。ティッシュを食べてしまう方に関しては、ティッシュを使う分だけお渡しし、使い終わったら必ず回収する・髭剃りで剃刀を使い終わったらホームでお預かりするなど、個々に必要な対応をさせて頂き、危険を防止するよう努めています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生後に事故報告書及びヒヤリハットにて報告をすると共に、内容は職員同士で共有し、事故原因の検証及び再発防止のためのカンファレンスを随時行い、再発防止に繋げている。又、法人としても報告書の提出を義務付け、法人全体として共通の認識として捉えています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に行う事は出来ていませんが、個々の事例にあわせた講習は個々の的に行っている。	○	今後は定期的にナース及び内外の研修に積極的に参加し、職員全体で情報の共有が出来るよう努力いたします。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を主軸に、災害時のマニュアル等の整備は整ってはいるが、地域の方々の連携及び協力においては十分な働きかけは出来ていません。	○	今後は、地域の自治会、近隣の方との交流を積極的にとり、災害時の対策における情報が共有できるよう努力いたします。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	体調変更に伴うリスクは都度ご家族の方に説明し、又、今後起こりうる事態の説明も都度させていただいております。また、ユニット会議にて抑圧感のない暮らしを大切にする対応策は都度話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者様個々の状況を把握しているのは職員であり、体調変化をいち早く察知出来る様、日々の観察力やバイタルチェック及び、職員同士の情報交換にてその日の体調把握が出来る様に努めています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のカルテに内服薬の処方箋を綴っており、確認しあっている。薬の変更や追加があった時は、申し送りにて確認しあっている。また、薬剤は専用のケースに入れ、服薬マニュアルの内容を徹底しながら誤薬がないようにも努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を活用しながら入居者様の排便間隔を把握し、最終排便がいつなのかを確認をしています。また予防の為に個々に応じて繊維質のものや乳製品を多めに摂取する等の対応を行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声掛けや誘導を行い、日々の口腔内の清潔保持に努めています。また週1回の往診時、歯科衛生士により個別に口腔ケア・指導を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事では食事摂取の記録を行い、入居者様個々の食事量を把握しています。食事中は楽しく食べられるような雰囲気作りを心がけ、声掛けや誘導・介助を行いながら支援している。水分に関しては脱水にならないよう配慮している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人として作成した感染マニュアルがあり、事務所内起こる可能性のある感染症に対しての予防及び対応が出来る様に努めています。また、各職員への周知徹底も行っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為、台所・床面・調理用具の衛生管理、新鮮な食材の使用と管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1Fに他の事業所が入っていて共同使用の為、明るく見えるようプランターの花を置き、入りやすい空間を作っています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節に合った飾り物や花を飾るなどして、建物の中にも季節を感じて頂けるように配慮しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の端にベンチを設置したり、居間にはソファを設置したりし、一人や少人数でも過ごしたい時に居場所が確保出来る様な配慮をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご家族様に対して認知症の方に対する環境の変化について説明し、ご理解を頂いています。ご本人様が日頃から馴染みのある品物を出来るだけ多く持ち込んで頂き、住み良い環境を提供出来るよう努めています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	共有空間や居室等24時間換気を行い、常に空気の循環に努めています。また室内の温度調節は職員の体感温度ではなく、入居者様にとって過ごしやすい室温かどうかの配慮を心掛けています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーは勿論の事、廊下・トイレ・浴室等への手すりの設置・ドアの引き戸・玄関周りのスロープ等、入居者様に使いやすい安全な住環境を提供し、出来るだけ自立した生活が出来るとな設備になっています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様の能力を見極め、その力量に応じた声掛けや誘導・出来ない部分のみの援助を行い、入居者様が自ら行っていける様な環境作りに努めています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭には洗濯を干すスペースとして、物干し場を確保し洗濯物を干したり取り込めたり出来る環境作りを提供しています。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)